

**広島空港アクセス等情報システム構築業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 10 月 27 日 9 時 00 分から 12 時 00 分まで
2	場 所	広島県庁 6 階 601 会議室
3	出席委員	広島県土木建築局空港港湾担当部長 広島県土木建築局空港振興課長 広島県総務局情報戦略担当部長 広島国際空港株式会社航空営業本部長 広島国際空港株式会社利用促進部長 広島国際空港株式会社コーポレート本部 経営戦略部 ICT 室長 公益財団法人広島県バス協会事務局長
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	土木建築局空港振興課
6	開催方法	参集
7	議事内容	提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得た A 社（富士通 Japan 株式会社西日本公共ビジネス統括部（広島））を最優秀提案者として決定した。 《提案者ごとの主な評価・選定理由》 【A 社：富士通 Japan 株式会社西日本公共ビジネス統括部（広島）】 ・画面デザインの視認性が優れていると感じた。 ・全体的に利用者の視点でのわかりやすさや、情報の充足への配慮があった。 ・運用の利便性について考えられているところがよかった。 ・課題認識はしたもの、そこから柔軟な対応をしようとしていた。 ・現行システムの問題に対して対策を提案できている。 ・スケジュールにおいて、要件定義フェーズが少なめである。 ・画面分割させることでの具体的イメージが少なかった。 ・今後発生する可能性のある問題を検討する場がない。 ・広島方面→空港行き情報について、こちらの質問からではなくプレゼンにあればより説得力があった。 ・自由提案部分が実現されるのであればよい。 【B 社：株式会社日立システムズ中国支社】 ・現システムの課題を把握・分析し、改善を図る対応が提案されている。 ・中筋駅の空席情報について、明確な対応の想定があった。

	・スケジュールにおいて柔軟性が見られた。 ・これから設計するということで、自由度は高そう。 ・広島空港のアクセス交通にかかる基本的現状の理解・認識に不十分な点があった。 ・代替輸送への対応や、緊急時の情報発信について、もう少し提案があるとよかった。 ・i-Highway、JR 運行情報の扱い、災害時の情報発信について不安が残る。 ・システムの具体をイメージできなかった。イレギュラー時の表示について、人手を要している。 ・自社パッケージのため対応は早そうだが、融通性が低いのではないか。 ・要件定義の工程が不明。
--	---